

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター		
10	6	9					担当係	東刈谷市民センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3か月間（各5～10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者数は16～20人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に触れることができる場を設ける。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・市民講座開設数 7講座 ・市民講座受講者数 136人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 138人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 109人		・市民講座開設数 3講座 ・市民講座受講者数 60人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技術の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		市民講座受講者数（人）			136	138	109	60	130	
指標										
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		640	621	608	589	合計 608,317 円			
	財源	特定財源	122	138	97	98	報償費 447,000 円			
		一般財源	518	483	511	491	需用費 66,955 円			
	職員人件費 ②		3,877	2,700	3,466	3,408	役務費 22,000 円			
	総事業費（①+②）		4,517	3,321	4,074	3,997	使用料及び賃借料 72,362 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		講座受講料						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	東刈谷市民センター
款	項	目		担当係	東刈谷市民センター
10	6	9			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、及び学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター		
10	6	9					担当係	東刈谷市民センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	東刈谷市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、東刈谷市民センター全館で実施する。				
	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
	位置づけ	根拠法令	社会教育法							
	対象者	東刈谷市民センター利用団体及び地域住民			事業期間	昭和57年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		2月25日（日）開催 ・参加団体数 31団体 ・参加者数 289人 ・入場者数 1,139人		2月24日（日）開催 ・参加団体数 30団体 ・参加者数 283人 ・入場者数 1,094人		2月23日（日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		2月下旬開催 ・参加団体数 26団体 ・参加者数 290人 ・入場者数 1,100人		
成果		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、前日の準備及び当日の開催以外は順調に準備ができた。								
課題		予定していた参加団体数等が前年度を下回る見込みであったため、今後の現状維持及び拡大する方策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		参加団体数（団体）			31	30	—	26	28	
成果指標		来館者数【参加者数＋入場者数】（人）			1,428	1,377	—	1,390	1,400	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		338	341	103	344	合計		103,170 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		103,170 円	
		一般財源	338	341	103	344				
	職員人件費 ②		1,939	1,929	2,310	2,272				
	総事業費（①＋②）		2,277	2,270	2,413	2,616				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	東刈谷市民センター
款	項	目		担当係	東刈谷市民センター
10	6	9			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	東刈谷市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東刈谷市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター			
10	6	9					担当係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	生涯学習施設（東刈谷市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
			根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例							
		対象者	市民		事業期間	昭和57年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画			
		東刈谷公民館利用者数 23,676人 施設利用率 37.4%		東刈谷公民館利用者数 21,649人 施設利用率 36.9%		東刈谷公民館利用者数 25,762人 施設利用率 36.2%		東刈谷公民館利用予定数 24,000人 施設利用予定率 38.0%			
成果		身近な学習施設である東刈谷市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。									
課題		施設利用率が減少傾向にあり、市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、公民館利用者数、施設利用率を増やす施策が求められる。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標		東刈谷公民館利用者数（人）			23,676	21,649	25,762	24,000	24,000		
成果指標		施設利用率（%）			37.4	36.9	36.2	38.0	38.0		
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①		12,614	13,670	12,355	13,427	合計	12,355,062円			
	財源	特定財源	1,597	1,567	1,519	1,544	需用費	2,710,288円			
		一般財源	11,017	12,103	10,836	11,883	役務費	168,642円			
	職員人件費②		5,040	5,015	6,546	10,223	委託料	9,071,777円			
	総事業費（①+②）		17,654	18,685	18,901	23,650	使用料及び賃借料	65,775円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称					
元年度までの累積事業費		0		市民センター使用料 電話料実費徴収金							
3年度以降の事業費見込		0									

会計名			施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	東刈谷市民センター		
款	項	目					担当係			
10	6	9								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	建物の目標耐用年数（80年）の中間年次となる築後40年を目安に大規模改修を行う。			
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	公共施設維持保全計画に基づき、施設の改修等を行う。								
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
	対象者	市民		事業期間	昭和57年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 老人センタートイレ污水管、松栄公園樹木（桜）根詰まり等による修繕 老人センター玄関風除室内外自動ドア修繕 児童館通路マット取替修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 東刈谷市民センター外壁等改修工事（外壁改修工事、防水改修工事、エレベーター改修工事） 		<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事設計委託 		_____		
成果		生涯学習施設として、より安全で快適に利用できる施設を提供することができた。								
課題		施設の老朽化に伴い、随時改修、整備を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,193	39,375	7,700	0	合計	7,700,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	7,700,000 円		
		一般財源	1,193	39,375	7,700	0				
	職員人件費 ②		1,163	1,543	2,310	0				
	総事業費（①+②）		2,356	40,918	10,010	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								